

## 工芸品で畳の文化を再び

豊川市ふるさと納税の「お礼の品」を豊川市へ寄附いただいている市内の事業者の方々にお礼の品への想いをインタビューさせていただいているこの企画、今回は「畳の名刺入れと手帳」を提供いただいている「乗本畳店」の乗本さんにお話を伺いました。それでは、どうぞ！



お礼の品で提供している「畳の名刺入れ」や「畳の手帳」を作り始めたのは、畳離れがきっかけです。

畳は、日本独自の文化ですが、近年は、畳の部屋が少なくなりました。

畳の需要が減るということは、畳屋が減るだけでなく、い草の生産者、専用の機械・工具の製造者が減ることにもつながります。生活の中から畳がなくなってい

く状況をなんとかかしたくて、畳に触れる機会を増やそうと考案したのが、畳を使った工芸品です。

職人としての技術を駆使して作るお礼の品を通して、畳について見直してほしいと思います。

畳の工芸品を作り始めたきっかけは、想像していなかったものでした。畳の需要が減ることが与える影響の大きさ痛感しました。インタビューありがとうございました。